協力／角川大映・キングレコード・ジービー・ミュージアム・ポニーキャニオン

Kyoto Hollywood News
京都ハリウッド通信

妖怪フリーク・原口智生監督が放つ
妖怪ムービー最新作
「跋扈妖怪伝・牙吉」

大ヒット作「陰陽師」や「たそがれ清兵衛」「平成ガメラシリーズ」などの特殊造形家である原口智生氏は大映京都製作の「妖怪大戦争」を見て大の妖怪ファンとなり、この道を志した。その原口氏が2000年に念願の妖怪映画「さくや妖怪伝」を監督、そして今回、新たな妖怪映画「跋扈妖怪伝・牙吉」を監督、7月に完成し来年の公開を待っている。撮影は1月26日から2月16日まで、「さくや」同様松竹京都映画撮影所で行われた。

先述のように数々の映画で特殊メイクアップ、造形を手掛ける、造形にこだわった原口監督ならではの造形の数々や、今回初登場の新作妖怪も見所。また、編集にCGを使用しない、どこか懐かしい映像が逆に新鮮なイメージを観客に与えるだろう。主演は人気実力派の原田龍二。時代劇映画では「かあちゃん」（01年）に出演。CX火曜時代劇「大奥」では薩摩藩士・東郷克顕役に。また現在放送中のTBS「水戸黄門」では5代目佐々木助三郎に抜擢され、時代劇には欠かせない俳優として信頼と人気を確立している。本作ではアクションに殺陣、そして人狼に変身するなど、今までに見た事のない原田龍二の魅力を引き出している。共演は「さくや妖怪伝」の安藤希、「首領への道」の清水健太郎ら。

安政二年、孤独に旅する牙吉（原田）は妖怪の鬼蔵（清水）が取り仕切る賭場を訪れる。そこの住人は桔梗（安藤）を除き全て妖怪で、悪人を地下に連れ込んでは貪り食っていた…。

原口智生監督造形の妖怪たちが文字通り跋扈する妖怪時代劇。主演は原田龍二、安藤希。妖怪・鬼蔵（清水健太郎）は「妖怪が安息に暮らせる土地を与える」という藩主との約束で罪人の始末をしていた。しかし藩主の陰謀を知った牙吉の怒りは頂点に達する

魔界からゾンビ市が殺しに来る！
「新怪談残虐非道・女刑事と裸体解剖鬼」

「新怪談残虐非道」
詳しくはhttp://office-yurika.web.infoseek.co.jpを

座頭市が注目を集める昨今、小生脚本監督の最新作「新怪談残虐非道・女刑事と裸体解剖鬼」には、魔界から甦った「ゾンビ市」が登場する。演じる橋本和博さんは勝新太郎の右腕として、30年近くを共にした大ベテラン。座頭市はもちろん「御法度」の殺陣から、風車の矢七のスタントも担当しており、現在も俳優として様々な映画やテレビで活躍している。そんな橋本さんにゾンビ市をお願いしたのは、昨年の春に橋本さんから仕事の合間に聞いた、橋本さんによる披露宴の余興の座頭市ショー。その身振り手振りを加えた説明があまりに面白かったので、次回作に活かせないかと思ったのが発端。まさか作品が出来る頃に座頭市が話題になっているとは。

名脚本家・早坂暁の傑作
「必殺からくり人」復活！

「必殺からくり人」DVDはBOX 1万6千円、単品3980円（共に税抜）にてキングレコードより発売中

吉永小百合の「夢千代日記」などで知られる名脚本家・早坂暁渾身の大傑作「必殺からくり人」全話DVDリリースがついに決定した。本作は早坂がメインとなり脚本を執筆、史実を織り交ぜた斬新な内容により、テレビ界のアカデミー賞であるギャラクシー賞を受賞した。大泥棒・ねずみ小僧が遺した幕府要人の秘密を記した覚え書を巡って、晴らせぬ恨みを晴らす「からくり人」一派と「蠱」一派の攻防を描く痛快編。レギュラーは山田五十鈴、緒形拳、芦屋雁之助、ジュディ・オング、森田健作ら豪華陣に加え、まだ全国区になる以前の間寛平も。本作はご存じ「必殺シリーズ」の第8作。必殺といえば奇抜な必殺技が話題だが、本作では森田健作の花火殺しが傑作！ 相手の口に花火を入れると腹の中で爆発、その瞬間肋骨が透けて見えるという爆笑必至の技。

不朽の名作！
勝新太郎「座頭市」が21世紀に蘇る！

「不知火検校」で後の愛妻・中村玉緒を犯す勝新

北野武監督主演の「座頭市」が大ヒットの最中、元祖「座頭市」こと勝新太郎主演の一連のシリーズが一挙DVD化される事となった。座頭市と言えば大映京都が産んだ、勝新主演の大ヒットシリーズ。大映時代に18本、以降勝プロで数本を製作後、テレビに活躍の場を移し約100本を放送した、まさしく勝新のライフワークともいえる作品だ。さて、今回は同時に座頭市の前身とも言える「不知火検校」がDVD化されるのも見逃せない。勝新は白塗りの二枚目スターだったが人気が出ず、心機一転「不知火～」で金のためなら殺しもする女も犯す極悪検校を演じ座頭市へとつながった上に、中村玉緒と本作で共演した事が縁で結婚に至った、公私共に記念的な作品だ。単品とBOX同時発売。「座頭市」BOXは3BOXに分割して発売、各3万円（税抜）、発売元・角川大映画、販売元・ポニーキャニオン。BOX購入者には「不知火」と座頭市全作の復刻プレスシートをプレゼント。

今月の言葉

トピックスにある「魔界少女拳」は8月1日に企画を依頼され、その時点で全10話を9月撮影10月納品というスケジュールが決まっていた。さてそこからが修羅場の連続。一から企画を考え、諸準備を考えると20日には脚本が上がっていないといけない計算。たった20日で無から企画をまとめ、全10話の脚本を仕上げるという前代未聞のスケジュール。結局27日に脚本は上がったが、今度は9月14日までに撮影を終了しないといけない。嗚呼！

2003年10月1日　山田誠二

責任編集人
山田誠二
1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

トピックス

「魔界少女拳 来夢（ライム）」

小生脚本監督の新作が始動。タイトルは「魔界少女拳・来夢（ライム）」。仙術を修行する少女・来夢は妖怪を倒す試練の旅に出て、得意の拳法を駆使して凶悪な妖怪と対決するという内容。主人公の来夢を演じるのは才谷ゆきこ。来夢と共に旅をするキツネの少女を中西絵里奈、来夢の ライバル・香葉を虎南有美が演じる。9月に撮影を終了し、年末にブロードバンド用の連続ドラマとして全10話が配信される。

亀岡でロケ「盲導犬クイール」

ベストセラー「盲導犬クイールの生涯」が映画化される事となり、原作本の舞台である亀岡でクイールは亀岡市曽我部町の関西盲導犬センターで訓練を受け、市内在住の渡辺満さん（故人）と生活を共にしたラブラドール・レトリバーで5年前に死亡。製作は松竹で監督は崔洋一。9月半ばにクランクインし、2カ月をかけて撮影、来春全国上映の予定。

「影の軍団」第三弾

千葉真一主演「新・影の軍団」第三弾「新・影の軍団第参章～地雷火～」が完成。出演は千葉真一、松方弘樹の他、仮面ライダー555の唐橋充、ウルトラマンコスモスの市瀬秀和ら。